

真生会富山病院を受診された患者の皆さま

当院は下記の研究を実施しています。この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

| | |
|--------------------|--|
| 研究課題名 | 経鼻内視鏡検査前処置法の変更による業務改善の試み |
| 当院の研究責任者(所属) | 石丸 ひとみ (真生会富山病院 外来) |
| 他の研究機関および各施設の研究責任者 | 該当なし |
| 本研究の目的 | 近年、苦痛を伴わない検査として経鼻内視鏡検査(以下経鼻とする)を希望する被検者が増加している。A病院では、2017年より経鼻前処置をスティック法で行ってきたが、検査件数の増加に伴い前処置に時間を要するため待ち時間が発生していた。さらに前処置にかかる転換業務も増加し、看護師の負担、処置具のコスト増加などの問題が生じていた。今回、被検者が苦痛なく経鼻をうけられる事を前提に、前処置にかかる時間の短縮と看護師の負担軽減となるよう業務改善を目的に本研究に取り組んだ。 |
| 調査データの該当期間 | 2019年5月1日～2020年5月31日 |
| 研究の方法(対象となる方) | (1) 2019年5月1日～2020年5月31日に経鼻を希望した445名のうち、苦痛なく検査を受けることができた225名に対して注入法を実施し、苦痛に対して前回との比較を聞き取った。 (2)内視鏡看護師10名に対してスティック法、注入法に要する前処置時間を測定した。負担感については自記式記述アンケートを実施した。 |
| 研究の方法(使用する情報) | (1)前回と比較した痛みの程度 (2)・スティック法、注入法にそれぞれに要した時間 ・前処置に関する負担感を5つの観点(準備、移動量、時間の制限、待ち時間の配慮、手技に関する合併症への不安)を5段階評価 ・内視鏡業務従事年数(内視鏡経験年数) |
| 試料/情報の他機関への提供 | 該当なし |
| 個人情報の取り扱い | 使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。 |
| 本研究の資金源(利益相反) | 本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。 |
| 相談・問い合わせ・苦情 | 真生会富山病院0766-52-2156 担当者: 石丸 ひとみ (看護師、日本消化器内視鏡技士) |
| 備考 | |